



「方舟」

高校2学年主任・地歴 齋藤亮

夕木春央/著・(株)講談社/発行

“ラスト一行で驚愕する”この謎い文句と周囲の勧めにより読んだ。本当に今まで読んだミステリー小説の中で、度肝を抜かれる最後。まだまだ想像を軽々と越えてくるトリックが残っていた。謎解きではないのですが、大謎のような体験が得られます。



「エコロジカル・アプローチ」

高校2学年 A 組担任・地歴 土屋貴亮

植田文也/著・(株)ソル・メディア/発行

動作の再現性を求める『伝統的アプローチ』と環境に対する適応力を求める『エコロジカル・アプローチ』。先に答えを教えるのか、答えに気づきやすい環境を設定するのか。運動だけでなく、教科や総合探求の学びにも役立つ発想だと思います。私も猛勉強中です。



「覚悟の論理」

高校2学年 B 組担任・芸術 兔束康雄

石丸伸二/著

(株)ディスカバー・トゥエンティワン/発行

廃れゆく故郷、未来を託すはずの地方議会は問題が山積、悲観的な将来が明白である。一人の銀行マンが意を決し市長選へ立候補し当選を果たした。著者が示す「覚悟」とは。生徒の皆さんにも必ずその時は来る。覚悟のプロセスを知れば、きっと役に立つでしょう。



「アイシナモロールと“一緒にご自愛”

～自分を好きになるための56のコツ～

高校2学年 C 組担任・理科 村岡希美

中島輝/監修・(株)扶桑社/発行

自分の愛し方をシナモンと一緒に学べる本です。シナモンが可愛いだけのよくあるタイプの本ではなく、心理学に基づいた科学的な知見が得られます。自分の不完全さを認めて、受け入れるのって難しいもの。人の目よりも自分の目を大切にしながら生きていきたいものです。



「羊をめぐる冒険」

高校2学年 D 組担任兼英語アドバイザー

英語 廣瀬仁士

村上春樹/著・(株)講談社/発行

主人公の「僕」は淡々とした没個性な青年で、ミスティアスで複雑な出来事に巻き込まれ「羊」を求めて旅をしてゆくが、見つけた先には喪失が待ち受けているという物語。読みやすい文体でスラスラ読めるので、氏がノーベル文学賞を受賞する前にご一読を勧めます。

「パスファインダー・カイト」

高校2学年 E 組担任・国語 原田貢佑

斉藤詠一/著・(株)角川春樹事務所/発行

自然保護 NGO に中途採用された速水権人は、秘密の過去と任務を抱えていた。自然の美化に留まらず、自然保護活動における政治的な思惑が見事に描かれている点が興味深い。そうは言っても、速水が乗り回すインプレッサが何より最高なので直ちに読んでほしい。



「正欲」

高校2学年 F 組担任・数学 室井沢耶

朝井リョウ/著・(株)新潮社/発行

誰にだって抑えられない感情がある。それが周りと違っていたら、この世界にはいけないのだろうか？物語の人物たちは周囲と違う自分の感情に悩みながらも必死に生きている人たちです。そんな人々を理解し、一緒にいてくれる人はきっといるはず。「多様性」という言葉で片づけるのではなく、一人一人と向き合ってみてください。見終えた後、あなたは確実に見る前と違っているはず。



「奪われし未来」

高校2学年 G 組担任・理科 鳩谷友一郎

シーア・コルボーン、ダイアン・ダマノスキ、

ジョン・ピーターソン・マイヤーズ/著・(株)翔泳社/発行

環境ホルモンが『内分泌かく乱物質』と正式に呼ばれ始めた、そのきっかけの一つになった本。科学者が求めた真実は人類にとって不都合と思えるものばかり。でもそれは本当に不都合なのだろうか。目先の安易な幸福ばかりを求めてはいまいか。持続的な発展の見込めない世界こそ人類にとって真に不都合であるはずなのに。



「軍師の門」

高校2学年 H 組担任・数学 鈴木敏道

火坂雅志/作・(株)角川学芸出版/発行

戦国乱世、豊臣秀吉の頭脳として、のちに「二兵衛」と称される二人の名軍師がいた。野望を内に秘め、おのが才知で天下に名を残そうとする竹中半兵衛と、小寺家の行く末を織田信長に託す決意をし、軍師としての生き様を模索する小寺(黒田)官兵衛。毛利攻略を機に秀吉のもとへ集い、いつしか「義」という絆で結ばれていく二人。混迷の現代に共感を呼ぶ長編歴史小説。



「グラスホッパー」

高校2学年 I 組担任・数学 加藤雅之

伊坂幸太郎/著・(株)KADOKAWA/発行

伊坂幸太郎の人気シリーズ「殺し屋シリーズ」の第一作です。3人の殺し屋の視点から物語が進んでいく、スピード感あふれる作品となっています。本を読む習慣がない人でも読みやすいと思うので、ぜひ手に取ってみてください。

